

平成28年12月宮古市議会定例会一般質問通告一覧表

(質問順)

質問月日	質問者	質問事項	
12月15日 (木曜日)	24番 茂市 敏之 議員 (復興を考える会)	1 観光振興について 2 大雨への対応について	P 1 P 1
	11番 佐々木 重勝 議員 (ネクストみやこ)	1 学校林の現状と今後の展望について 2 公園の管理状況について	P 3 P 3
	2番 小島 直也 議員 (公明党)	1 ふれあい公園の復旧について 2 公園内の樹木の管理について 3 街路樹の管理について	P 5 P 5 P 5
	16番 工藤 小百合 議員 (ネクストみやこ)	1 清水川の整備について 2 教職員の現状について 3 仮設住宅の集約、撤去、整備について	P 6 P 6 P 6
12月16日 (金曜日)	9番 内舘 勝則 議員 (無所属クラブ)	1 「産業立市」「教育立市」の評価と総括について 2 公共施設等総合管理計画から見た財政見通しについて 3 台風10号被害の検証と対応策について 4 高齢化の進行と認知症対策について	P 7 P 7 P 7 P 7
	26番 田中 尚 議員 (日本共産党)	1 災害に強いまちづくりについて	P 8
	21番 竹花 邦彦 議員 (新風クラブ)	1 J R山田線に係る課題について 2 保育所の待機児童について 3 新規高卒者の就職内定状況について	P 9 P 9 P 9
	1番 今村 正 議員 (無所属)	1 台風10号による水害の検証と対策について 2 高齢運転者対策について	P 10 P 10

質問月日	質問者	質問事項	
12月19日 (月曜日)	12番 須賀原チエ子 議員 (ネクストみやこ)	1 相次ぐ水害による人口流失に歯止めを 2 ペットと共生する社会づくりを 3 八木沢地区センター整備計画の進捗状況は	P 12 P 12 P 12
	14番 橋本 久夫 議員 (ネクストみやこ)	1 事前防災行動計画(タイムライン)導入について 2 大型クルーズ船誘致における港湾戦略は 3 食品ロスについて	P 13 P 13 P 13
	25番 藤原 光昭 議員 (新風クラブ)	1 台風10号による災害復旧について 2 農業振興について	P 14 P 14
	7番 中島 清吾 議員 (日本共産党)	1 定住化促進策について	P 15
12月20日 (火曜日)	15番 古舘 章秀 議員 (ネクストみやこ)	1 台風10号における災害対応策等について 2 森林道路整備と林業活性化対策について 3 宮古のレスリング・セーリング競技の推進について	P 16 P 16 P 17
	20番 落合 久三 議員 (日本共産党)	1 台風被害を踏まえた河川改修と市街地の冠水対策について 2 行政評価について	P 18 P 18
	6番 鳥居 晋 議員 (復興を考える会)	1 新道の駅たろうと田老地区の観光について	P 19

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月15日(木)

質問順位 1番

質問者 議席番号 24番 茂市敏之議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 観光振興について	<p>① 今年3月に策定された宮古市観光振興ビジョンでは、エコツーリズム等に主眼をおいているが、これらは観光政策としては枝葉の部分であると思う。政策の幹は、観光客を宿泊させる方法、外貨を落とすだけの方法を考えることだ。震災特需が終わったとき、観光が地方創生の大黒柱として宮古市の経済を支えている状況をつくり出していなければならない。市当局は新しい観光地を開発することを考えているのか。あるいはどのように幹の部分をつくろうと考えているのか伺う。</p> <p>② 月山山頂等整備事業の中の市道御殿山線の道路改良は、平成30年度工事完了予定となっている一方、展望台については環境省が整備することに変更となった。この際、当初計画どおり、月山中央に建設してもらうように交渉してはどうか。これが観光振興戦略のまさしく幹の部分と私は信じるが、市長の考えを伺う。</p>	
2 大雨への対応について	<p>① 台風10号が本市に大きな被害をもたらした。この台風10号に関し、市当局は気象庁や県から何時に警報等の情報を受け、土砂災害警報や避難準備情報・避難勧告・避難指示はどのような判断のもとに何時にどの地区に出したのか伺う。また、今回の対応について反省する点はなかったか伺う。次に、昨年提言した事前防災行動計画は策定されていたのか伺う。避難準備情報や避難勧告などについて、内容が理解されていない状況が全国的に問題になっているが、今後、防災無線で放送する場合、改善点はあるか伺う。また、放送があった際、地域住民に対し、誰が周知徹底するか、事前に決めておくべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>② 政府は、小型の気象レーダーで自治体が独自に局地豪雨の前兆を掴み、降雨量や浸水域を予測して5分以内に住民に配信するシステムを開発した。来年夏までにシステム運用のガイドラインを作成し、導入を希望する自治体には整備費の半額を上限に補助する方針とのことである。本市も導入を考えるべきと思うがどうか。</p>	

	<p>③ 茂市地区の刈屋川右岸堤防は、今年度延長工事に入ると聞いているが、左岸堤防は地権者の協力が得られず、途中までしかできていない。県に強く要望するべきではないか。また、11月7日の新聞報道によると、県は台風10号で氾濫した県内6河川の河川改修に伴い、川沿いの一部地域の用地買収を検討しているとのことである。この中に刈屋川と長沢川が入っているが、詳細な場所についての情報はるか伺う。また、以前に申し上げた墓目地区の堤防延長や花原市地区の堤防嵩上げについても県に対し強く要望するべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>④ 閉伊川本流、支流及び津軽石川で土砂の堆積が目に見え、特に茂市地区では護岸と河川が同じ高さになっている。早急に土砂を撤去する方法はないか伺う。</p> <p>⑤ 県は茂市地区2箇所には砂防ダムを造る計画とのことだが、他にも土砂が大量に流出したところがある。この砂防ダムの計画に宮古市は関与しているのか伺う。</p> <p>⑥ 墓目地区駅前市道は、長年に渡り大雨のたびに冠水し、付近の住宅は幾度となく被災してきた。3年前に側溝の手直しをしたが、もともと低地で勾配がとれないため、台風10号の際も同様に被災する結果となった。排水ポンプを設置すべきと思うが、市当局の考えを伺う。</p> <p>⑦ 台風10号による避難や復旧作業を通じ、自主防災組織の重要性を痛感した。まだ自主防災組織が結成されていない地域に早急に結成を働き掛けるべきと思うが、どのように推進するのか伺う。</p> <p>⑧ 市長は以前、台風で被災された方々について、津波で被災された方々と同様に支援したいということだったが、対応が遅れている事項と、今後の見込について伺う。</p>	
--	---	--

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月15日(木)

質問順位 2番

質問者 議席番号 11番 佐々木 重勝 議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 学校林の現状と今後の展望について	<p>市内には、昭和30年市町村合併以前からの学校林が現在も存在している。学校林の育成管理は、児童生徒が体験学習の一つとして、また地域の自然財産の保全活動として学校と地域が一体となって取り組んできたものと思う。その長年の取り組みが認められ、県や国から表彰を受けた学校もあると聞いている。</p> <p>学校林は、地域の歴史を学び、自然と触れ合う場所として教育実践に欠かせないものであり、また、市有財産として貴重な財源となってきたことも事実である。また視点を変わると、現代社会において森林整備は、温室効果ガス削減対策や水源涵養といった目に見えない重要な役割を果たしているものと思う。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>① 制度導入の当初の目的について伺う。</p> <p>② 現在の箇所数と、その利用状況について伺う。</p> <p>③ 育成管理について、現在どのような管理体制であるのか。例えば、市と地域住民との連携がなされているのか伺う。</p> <p>④ 学校林としての当初の目的を考慮しながらも、今後の利活用及び展望について伺う。</p>	
2 公園の管理状況について	<p>東日本大震災後において仮設住宅の建設場所となった公園については、その後の復興も順調に進み、今後の仮設住宅の解体撤去計画も示されたところである。</p> <p>市民がふれあいや安らぎを求めて集う公園は、それぞれの地域に設置され運営管理されているが、仮設住宅の解体撤去計画が示された今こそ、公園本来の存在意義を見つめ直す好機である。そこで公園利用に関しての効果と今後の課題について伺う。</p> <p>① 市の管理が及ぶ公園箇所数はどのくらいであるのか伺う。</p> <p>② 宅地造成地等に設置される開発緑地公園の管理は誰が行うのか伺う。</p> <p>③ 遊具等の保守管理についてはどのように行っているのか伺う。</p> <p>④ 公園内の桜は、昔から市民に憩いの木として親しまれているが、大半の箇所において枯枝等が見られ、手入れが必要と思われることから、現状と対応策の</p>	

	<p>検討状況について伺う。</p> <p>⑤ 地域住民が恩恵を受ける場所であるならば、地域住民と連携して維持管理に努めるべきものと思うが、現状と施策の検討状況について伺う。</p> <p>⑥ 市として、将来における公園の役割をどのように考えているのか展望を伺う。</p>	
--	--	--

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月15日(木)

質問順位 3番

質問者 議席番号 2番 小島直也議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 ふれあい公園の復旧について	ふれあい公園は、市民の憩いの場として、ウォーキングやジョギングなどに活用されてきた。台風10号により被災し閉鎖され3カ月が経過する。被害にあった状況のままの姿を市民に見せていることは、非常に残念に感じる。1日も早い復旧を望むが、今後の対応について市はどのように把握しているのか伺う。	
2 公園内の樹木の管理について	市内の公園には今なお、応急仮設住宅が設置されている。生活が再建し、やがて撤去が進み公園の状況も震災前に戻る日がくる。震災から5年経過し樹木の中には枝が伸びすぎて道路にはみ出すもの、枯枝が落下しそうなものがある。 公園内の樹木を適切に管理し、市民が安全に楽しめる空間づくりが必要と思うが見解を伺う。	
3 街路樹の管理について	板屋・西ヶ丘地区の市道には街路樹が植栽され、数種類の落葉樹が四季折々の姿を見せ市民を楽しませている。しかし、枝を全部切り落とすような剪定をすることがある。いわゆる寸胴切りだが、管理の仕方は果たして適切かどうか疑うところである。 樹木の管理、技術のレベルアップを図り、市民が観て誇れる緑のまちづくりを推進すべきと思うが見解を伺う。	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月15日(木)

質問順位 4番

質問者 議席番号 16番 工藤小百合議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 清水川の整備について	<p>① 清水川に合流する枝線の日影町の川は、カーブや直角で川幅は狭い。川のそばには民家が密集しているが、市民が安心して暮らすためには川の整備が必要と思うが、市の考えを伺う。</p> <p>② 清水川以外にも他の小さくても整備された川と、昔から変わらない川があるのは問題と思うが、市の考えを伺う。</p>	
2 教職員の現状について	<p>① 実務労働時間は、震災前と比べ増加しているか伺う。</p> <p>② 精神的負担が増加していると思うが、その心のケアについて伺う。</p> <p>③ 増員について県がどう考えているのか、市は把握しているのか伺う。</p> <p>④ 全く経験等が無い教員が部活動の顧問になることは珍しくないが、当市での実態と不安を持つ教員への対応について伺う。</p>	
3 仮設住宅の集約、撤去、整備について	<p>① 市は、仮設住宅の集約、撤去計画を示しているが、その進捗状況について伺う。</p> <p>② 仮設住宅は利用期限があるが、期限が過ぎた後も利用できるか伺う。また、撤去後の仮設住宅を他の場所で再利用することが可能か伺う。</p> <p>③ 仮設住宅撤去後の小中学校校庭は、元のとおり整備されるのか伺う。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月16日(金)

質問順位 1番

質問者 議席番号 9番 内館勝則議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 「産業立市」「教育立市」の評価と総括について	<p>宮古市はこれまでの間、宮古市、田老町、新里村の合併を経て新たに川井村との合併、東日本大震災の復旧復興、台風10号災害による復旧復興など激動の諸課題に立ち向かってきた。</p> <p>市長は、マニフェストに「産業立市」と「教育立市」を掲げ取り組んできたが、これまでの経過をどのように評価し総括しているのか伺う。</p>	
2 公共施設等総合管理計画から見た財政見通しについて	<p>平成28年度事業において公共施設等総合管理計画を策定することとしている。この計画は、これまで策定した公共施設再配置計画実施計画に加えて、道路、橋梁、上下水道等も含めた維持管理を総合的に管理する計画であり、膨大な財政投入が想定される。見通しをどのような視点で捉えて対応しようとしているのか伺う。</p>	
3 台風10号被害の検証と対応策について	<p>今回の台風の被害は甚大なものとなり、災害支援のあり方や現行制度では対応しきれない多くの課題があるが、以下の内容について伺う。</p> <p>① 空き市営住宅入居者の利用期間延長について</p> <p>② 私道被害の支援策について</p> <p>③ 農道、林道、農地災害への対応について</p> <p>④ 河川の支障木の除去や河床の浚渫について</p>	
4 高齢化の進行と認知症対策について	<p>高齢化の進行とともに、認知症患者数は大幅に増加しており、その結果、認知症患者が徘徊し、行方不明や交通事故に巻き込まれるケースが数多く発生してきている。早期に発見・保護するための取り組みが重要と考えるが次の点について伺う。</p> <p>① 認知症徘徊高齢者見守りについて、どのような取り組みをしているか。</p> <p>② 徘徊高齢者家族介護者安心事業の実績と課題は。</p> <p>③ GPS端末の貸し出しに加え、見守りキーホルダーや反射材ステッカーなどを導入する考えはないか。</p> <p>④ 「地域の目」による早期発見の取り組みとしてコンビニエンスストアと協定を結ぶ考えはないか。</p> <p>⑤ 認知症サポーター養成講座等を通じて、ロールプレイの手法により、認知症徘徊高齢者の方への声掛け訓練を取り入れてはどうか。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月16日(金)

質問順位 2番

質問者 議席番号 26番 田中 尚議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 災害に強いまちづくりについて	<p>観測史上初とか記録的な豪雨が珍しくなくなりつつある今日、そうした事態に対応するまちづくりが必要になってきていると考えるが、市の認識と対策について伺う。</p> <p>① 防災あるいは減災が可能となる防潮堤や堤防整備など「まちづくり」については行政の押し付けでなく「住民合意」を前提に計画を策定すべきと考えるが、市長の認識はどうか伺う。</p> <p>② 津波や洪水被害が相次いでいるが、津波対策では他市の湾口防波堤や当市の水門など災害時の効果などの検証が不十分なまま復旧・増強工事が先行している。市長は、検証は十分行われたとの認識か伺う。</p> <p>③ 台風10号による豪雨災害では、河川の増水時に河川からの浸水を阻止し、内水をくみ出すポンプの設置が望まれているが、市が認識している設置必要箇所及び整備状況と課題への対策はどうか伺う。</p> <p>④ 河川の氾濫などによる洪水対策では河川内堆積土砂の浚渫や地盤沈下なども考慮した堤防のかさ上げの必要性など河川の総点検が必要と考えるが、市長の見解はどうか。また、その点での財源等課題と解決策はどうか伺う。</p> <p>⑤ 台風10号豪雨災害で市長は「山津波」とも表現しているが、その原因や今後の対策を示されたい。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月16日(金)

質問順位 3番

質問者 議席番号 21番 竹花邦彦議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 JR山田線に係る課題について	<p>① JR山田線宮古・釜石間の三陸鉄道運営移管に伴い検討が進められている新駅設置(津軽石・河南・田老)について、現在の進捗状況を伺う。</p> <p>② 宮古・盛岡間の土砂崩壊復旧工事は来年9月の完成、11月の開通見通しがJRから示されている。全線復旧まで1年近い時間があることを活かしてJRとの協議を積極的に進め、課題となっているダイヤ見直し・改善等を図るべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p>	
2 保育所の待機児童について	<p>① 市内保育所の待機児童数の解消が図られている状況にあるのか伺う。</p> <p>② 待機児童の定義、解釈が自治体によって異なり待機児童数の実態把握が問題になっているが、当市の待機児童の捉え方について伺う。</p> <p>③ 待機児童解消に向けた具体的対策と施策の構築について市長の考えを伺う。</p>	
3 新規高卒者の就職内定状況について	<p>来春の市内高校卒業予定者の就職内定及び管内の就職見通しの状況を伺う。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月16日(金)

質問順位 4番

質問者 議席番号 1番 今村 正議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 台風10号による水害の検証と対策について	<p>台風10号は沿岸地方に甚大な被害をもたらしましたが、特に岩泉町の河川の氾濫は、激甚を極めるものとなりました。</p> <p>当市においても、大小河川の氾濫により、国道の決壊や道路の陥没、国道106号の千徳・茂市間をはじめ、国道340号の和井内地区など主要なインフラが寸断されました。</p> <p>また、市街地においても各所で浸水被害が発生し、市街地の氾濫を、人為的な工作物が誘発した内水氾濫と推定した研究者もいました。</p> <p>洪水被害が広範囲に及ぶことから、その被害箇所によって原因及び関連要因が異なるものと思われませんが、迅速に進む災害復旧の陰に隠れ、往々にして原因の根本的究明がなされていないまま、時間が推移しているように見えます。地球温暖化やそれに伴う気候変動の極端現象が多発している今日、行政はその原因を曖昧にすることなく、徹底的な原因究明とその特定を図り、早急に適切な対策を講ずるべきであると考えます。</p> <p>その原因を徹底究明しないままに、その場しのぎの復旧に着手しても、再び襲来するであろう災害に対処することは極めて困難であり、脆弱で無駄な対策となると言えますが、市長の見解を求めます。</p>	
2 高齢運転者対策について	<p>高齢運転者による死亡事故が相次いでいることを受け、政府は11月24日、関係省庁が対応策を話し合う作業部会を開きました。認知症の可能性のある高齢者への医師の診断を義務付ける改正道路交通法の来年3月施行に向けた準備や車が必要な地域での高齢者の移動手段の確保なども含めて検討し、来年6月までに対応策を取りまとめるとされています。</p> <p>警察庁の統計によると、65歳以上の運転者が第一当事者となった交通事故は本年9月末現在で691件に上り、全体の3割近くを占めています。厚生労働省の2012年統計によると認知症患者数は高齢者の7人に1人、462万人とされています。認知症で実際に運転する人の数は定かではありませんが、返納率から200万人以上が免許証保有者とする推計もあります。</p> <p>そこで、過疎地の足として一般の運転手が客を有料</p>	

	<p>で同乗させる「ささえ合い交通」が、京都府京丹後市でスタートしました。地元のNPO法人「気張る！ふるさと丹後町」が市の補助金を得て始めた事業で、スマートフォンなどのアプリで車を呼ぶためのシステムをライドシェア世界大手の米ウーバー・テクノロジーズ日本法人が提供しました。</p> <p>人口減少と高齢化が進む中、過疎地域では公共交通が弱体化しています。このシステムの導入を検討すべきと考えますが、市長の見解を求めます。</p>	
--	--	--

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月19日(月)

質問順位 1番

質問者 議席番号 12番 須賀原 チエ子 議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 相次ぐ水害による人口流失に歯止めを	<p>台風10号の甚大な被害は、当市の水害に対する弱さを示した。台風は津波と違いどの地域でも被害にあう可能性がある事を実感した。市役所周辺や藤原地区等では5年間に2度の災害に「二度あることは三度あるのでは」との恐怖に、引越したいと考えている若い世代の市民もいる。早急に河川の整備などを行う必要があると考える。</p> <p>そこで、市は県に対し河川の整備要請を行っていると思うが、その状況と見通しを伺う。併せて、市の管轄の河川の今後の整備計画について伺う。</p> <p>また、今回の台風被害により心に傷を受けた方も多と思う。特に2度の被害を受けた方の心の傷は如何ばかりかと思う。市はこのような方への精神的ケアをどの様に行っているのか伺う。</p>	
2 ペットと共生する社会づくりを	<p>① ペットは心を癒す友達であり飼い主には家族と同様である。東日本大震災ではペットを救おうと家に戻り被害に遭った方もいる。一方、ペットを避難所に連れていけないからと避難しなかった方もいたと聞く。そこで、災害時に市民の避難を促すためにもペットを連れて行ける避難所の体制が不可欠と考えるが、市の考えを伺う。</p> <p>② ペットも適度の運動が必要である。しかし、むやみにリードを外しての散歩は好ましくない。平成25年4月「市長への提言」では市営ドッグランの設置を提言され、市は実施実現に向け努力すると回答している。また、グリーンピア三陸みやこで来年度に工事予定と聞くが、取り組み状況を伺う。</p>	
3 八木沢地区センター整備計画の進捗状況は	<p>八木沢地区センターの新設整備について、これまでも数度質問を行ってきた。東日本大震災で被災した各施設も整備の目途が立ったことから、いよいよ八木沢地区センターが整備されると地区住民は期待しているが、計画の進捗状況を伺う。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月19日(月)

質問順位 2番

質問者 議席番号 14番 橋本久夫議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 事前防災行動計画(タイムライン)導入について	<p>大規模災害に備える事前防災行動計画「タイムライン」がある。タイムラインは、「いつ」、「誰が」、「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した防災計画である。文書や表で示し、チェックリストとして活用することで、対応の漏れ、抜け、落ちがなくなる先手必勝型の防災である。</p> <p>関係機関や住民等が連携してタイムラインを策定することにより、あらかじめ決められたことを早目に行動に移すことができるため、タイムライン導入は有効と考えるが見解を伺う。</p> <p>併せて、今回の台風10号による市の防災情報発信体制は有効だったのか伺う。</p>	
2 大型クルーズ船誘致における港湾戦略は	<p>3千人前後が乗船できる総トン数10万トン超の外国大型クルーズ船を宮古港へ誘致する取り組みを本格化させるという報道が過日あった。フェリー航路開設とともに朗報である。今後、宮古港がクルーズ港として定着し、新たな「みなとまち」として位置付けられることとなれば、まち全体が大きく飛躍するチャンスでもある。誘致に向けてどのような展開をしていくのか、今後の展望を伺う。</p> <p>さらに宮古港のウォーターフロント開発を含めた港湾戦略について、どのように考えていくのか見解を伺う。</p>	
3 食品ロスについて	<p>売れ残りや食べ残しなど、本来食べられるはずの食品が廃棄されてしまう「食品ロス」。今、この食品ロスを削減していこうという取り組みが全国的に広がっている。その取り組みの一つに「3010運動」というのがある。宴会等における食べ残しを減らすための取り組みである。</p> <p>本市においても、このような啓蒙活動に取り組みながら、一般廃棄物の減少を図るべきと考えるが見解を伺う。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月19日(月)

質問順位 3番

質問者 議席番号 25番 藤原光昭議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 台風10号による 災害復旧について	<p>市道嬉内線及び中野線に面する滝ノ沢の増水による土砂流出で幾度となく災害が発生し、隣接する民家は危険にさらされている。</p> <p>今後、被災を繰り返さないため、原形復旧に留まることなく、地域の被害状況の実情を十分に調査し、防災対策工事に取り組むべきと考えるが、見解を伺う。</p>	
2 農業振興について	<p>本市は、傾斜地が多く、まとまった耕地が少ないため、狭小な農地を個人農家が耕作している。農業生産条件が厳しく、土地利用型農業の規模拡大は容易でない中山間地域農業だ。</p> <p>また、多くの地域が高齢化や担い手不足で、遊休農地と耕作放棄地が増えている。このような状況が進めば、将来の本市の農業は厳しく、遊休地だけが増大し、野生動物の棲みかが増える。農地を守るために今のままで良いのか。放棄地は解消されるのか。担い手は育つのか。営農をやめる人は多いが、集約する受け手が少ないのが実態であり、大きな課題だ。</p> <p>中山間地域で新規に営農をする若者が増えるように地域ぐるみで農地を守っていくことが重要ではないかと思うが、次の点について伺う。</p> <p>① 全農家を対象とした営農意向調査を実施し、中山間地域等直接支払制度をこれまで以上に活用して、担い手への農地利用の集積・集約化や人材育成など、耕作放棄地・遊休農地の解消に向けた集落営農に積極的に取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>② 農業委員会が担当区域における農地等の利用の最適化を積極的に推進していくため、本年4月、農地利用最適化推進委員が新設された。当該委員については農業委員会が委嘱することになっているが、募集・推薦に係る状況及び委嘱後の当該委員の活動についてどのように考えているか。</p> <p>③ 担い手育成のため、農業者の収益に向けた支援や新規就農者及び後継者の育成制度の拡充についてはどう考えているか。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月19日(月)

質問順位 4番

質問者 議席番号 7番 中島清吾議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 定住化促進策について	<p>定住化促進策として、次の3点について伺います。</p> <p>① 待機児童を解消できない要因として、これまでも保育士確保が困難であることが指摘されてきました。保育士の確保などを含めた待機児童解消策について、市の考えを伺います。</p> <p>② 大震災と台風被害による就学援助の給食費の適用を受けている小中学生は22%となっています。こうした現状からも、学校給食費の無料化は児童生徒の健全な成長と若者の定住化につながる方策であると考えます。給食費無料化について、市の考えを伺います。</p> <p>③ 先の決算特別委員会で「医療費の無料化については、仮に高校生まで対象を引き上げた場合必要となる予算は1千万円位。ただ範囲を広げるのではなく、制度の充実を図ることも大切。」ということが話されました。進学のため、中学校卒業後に市外に出る高校生も少なくありませんし、市に有望な人材を残すという点からも高校生までの医療費無料化は必要と思われませんが、市の考えを伺います。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月20日(火)

質問順位 1番

質問者 議席番号 15番 古館章秀議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 台風10号における災害対応策等について	<p>気象庁は台風10号に関し、8月29日の夜に、30日夕方から東北地方へ接近し上陸するおそれ。暴風、高波、土砂災害、河川の増水や氾濫に嚴重な警戒を呼びかけた。また、30日の午前には記録的な大雨の恐れありと警戒を呼びかけた。宮古市では30日午後に災害対策本部が設置されたが、市民は市の対応について大きな不満を感じている。</p> <p>① 気象庁の天気図から豪雨を予測することができたと思うが、なぜ、市民への情報発信が遅れたのか伺う。</p> <p>② 今回の台風被害では約2kmの区間で5カ所も通行止めとなり、身動きできない状態になった。救助等を含め全く情報が入らなかった区域もあったことから、ラジオ難聴地域の解消と防災行政無線子局の充実を図るべきと思うが見解を伺う。</p> <p>③ 宮古市地域防災計画の活動体制計画で、災害発生時の各部の分掌事務を見ると、広範な地域を担当する川井総合事務所は職員数が少ないが本部と同等の担当内容である。今回の台風災害で約10日間孤立した地域の災害対応をどのように評価するのか。また、改善策等は何か伺う。</p> <p>④ 国道等の寸断により応急避難所の開設がなされたが、市民生活部生活班の物資及び食料供給に関することなどの活動体制の指示等を含め対策をどのように講じたのか伺う。</p>	
2 森林道路整備と林業活性化対策について	<p>① 戦後の木材景気により素材生産業者が道路を整備し木材の搬出を行ってきた。その道路を現在まで活用し、植栽・下刈・除間伐等の森林整備を行ってきたが、先の台風10号により道路が流出し、森林整備作業をはじめとする各種施業ができなくなった。本市の目指す「森・川・海と人が共生する」としている森の育成に欠かせない道路を林道として新たに整備すべきと思うが見解を伺う。</p> <p>② 林業振興に欠かせない「担い手」の対策を具体的にどのように取り組もうとしているか伺う。</p>	

<p>3 宮古のレスリング・セーリング競技の推進について</p>	<p>① 希望郷いわて国体のレスリング・セーリング会場として関係機関等の努力により、それぞれの競技が無事に終了した。選手・関係役員をはじめ他県からの来場者からも高く評価されている。国体を契機に、幼児期から競技の指導・育成に取り組み、宮古市は「レスリング」のまち、更には「セーリング」のまちとして県内外に発信し、県大会、東北大会、全国大会などの誘致に取り組むべきと思うが見解を伺う。</p> <p>② 本市のレスリングの指導・育成の現状は小学生までであり、中学生になるとレスリングクラブがないため中断し、高校に入ってから育成となることから、世界に羽ばたく選手の育成に結びつかない状況である。少年・少女の育成に取り組みながら選手強化を図りつつ、管内外の各種大会を誘致する体制を構築することが重要である。そのためにはレスリング・セーリング推進室等を設けるべきと考えるが見解を伺う。</p>	
----------------------------------	---	--

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月20日(火)

質問順位 2番

質問者 議席番号 20番 落合久三議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 台風被害を踏まえた河川改修と市街地の冠水対策について	<p>今次台風10号による被害は甚大である。河川断面不足による氾濫、周辺の沢水や雨水により農地、林道、そして住家と事業所の被害と広範囲に及んだ。</p> <p>① 市長は今次台風被害の甚大さの要因、原因をどう捉えているのか。河川周辺と市街地の被害、それぞれについての答弁を求める。</p> <p>② 津波対策は当然重要だが同時に山津波対策の重要性、緊急性も改めて再認識させられ、私は自戒の念を抱いている。市長は、県管理の河川である閉伊川と津軽石川の改修事業のキーポイントは何だと考えるか。また、市街地の浸水、冠水対策の決め手は何だと考えるか。</p> <p>③ 避難勧告等発令基準に基づいて、今次台風10号襲来時にはどのように発令されたのか。教訓と反省点は何か。</p>	
2 行政評価について	<p>行政も議会も「最少の投資で最大の効果を」「無駄を省き事業の緊急性、優先性に基づいて」「住民の福祉向上第一」の視点で事務事業評価を行うことがますます重要である。市はこれまで行政評価(事業評価)を平成13年度から22年度まで実施してきたが大震災後中断し、28年度から再開するとしてきた。</p> <p>① 行政評価(事業評価)の進捗状況はどうか。</p> <p>② 総合評価は、拡充、縮小、廃止、継続などがあるが、その内容はどのようなものか。また、どのような手順で評価が行われていくのか。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月20日(火)

質問順位 3番

質問者 議席番号 6番 鳥居 晋 議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
<p>1 新道の駅たろうと田老地区の観光について</p>	<p>新道の駅たろうは国土交通省の重点道の駅に選定され、今後は、田老地区はもとより当市の経済への波及効果も大きいものとする。地区住民も大きな期待を寄せているところである。そこで、次の点について伺う。</p> <p>① 新道の駅たろうの管理、運営方法について伺う。</p> <p>② 重点道の駅として、「産業振興」「観光総合窓口」「交流・連携」の取り組みが期待されて選定されている。具体的な方策について伺う。</p> <p>③ 特に成功のポイントは集客にあると考えるが、国内外から新道の駅たろうに、どのような方法で利用客を呼び込もうとしているのか伺う。</p> <p>④ 新道の駅たろうは、三陸ジオパークのゲートウェイの役割も果たすことになる。観光振興を進める上でジオサイトである三王岩と、その周辺の活用は必要不可欠と考える。平成27年12月定例会の一般質問で三王遊歩道の復旧について質問した際、市長からは「今年度から実施設計、工事に着工するとの県から連絡があった。」と答弁があった。</p> <p>復旧整備が進んでいると感じられないことから、工事の進捗状況と今後のスケジュールについて、市はどのように把握しているのか伺う。</p>	